

## 1章 考えるべき時代背景

1.1> 高齢化と人口減少	1
1.2> 交通計画と気候変動	12
1.3> 交通の新技术・新サービスの登場	23
1.4> まとめ	31

## 2章 交通計画のこれまでとこれからの課題

2.1> 人はなぜ移動(外出)するのか?	35
2.2> 交通計画の位置づけ・視点	45
2.3> これまでの交通計画の展開と課題	51

## 3章 地域への取り組み方と新しい動き

3.1> 地域交通を考える上での視点	63
3.2> 大都市郊外におけるモビリティの確保	71
3.3> 地方都市、中山間地域のモビリティ確保	77
3.4> 地方都市における共創の事例	83
3.5> 日常交通等の組み合わせ観光向けモビリティの確保	91

## 4章 交通計画を支える新しい技術動向と課題

4.1> シェアリングサービスという考え方の浸透	95
4.2> オンデマンド型サービスの新しい展開	101
4.3> 住民参加：交通計画・計画技術における住民参加と情報技術等	109

4.4> 情報技術とモビリティ・サービス .....	116
4.5> ITS領域の展望 .....	121
4.6> 応用提案例：自動運転技術と道路課金によるビジョンゼロ実現 .....	125

## 5章 障害者の情報とコミュニケーションの新技术

5.1> 障害者の情報とコミュニケーションの考え方の整理 .....	130
5.2> 車いす使用者の情報技術 .....	137
5.3> 視覚障害者の新技术 .....	141
5.4> 聾啞者あるいは聴覚障害者の新技术 .....	147
5.5> 目に見えにくい障害（発達障害を中心に） .....	152

## 6章 座談会 30年後の交通はどうなるのか？

座談会をはじめるとあたって .....	156
1 なぜ「新ブキャナン」なのか？ .....	157
2 土木計画学研究委員会における小委員会立ち上げの経緯 .....	159
3 人口減少と高齢化で何が起きるのか？ .....	162
4 待ったなしの環境問題、脱炭素化に向けて .....	166
5 情報技術・変化の速い交通をどう受け止めていくか .....	169
MaaS .....	171
ライドシェア .....	173
電動キックボード .....	175
6 まとめ .....	179